

佳作 日本語の勉強



グエン ティ トゥー
NGUYEN THI THU
国 籍 ベトナム
職 種 工場板金
実習実施者 株式会社長尾製作所
監理団体 ジェー・エム・エス協同組合

私は2019年10月に技能実習生として初めて日本に来ました。日本に来るまでベトナムで7ヶ月、入国後の日本語教育センターで1ヶ月、計8か月間、日本語を勉強しました。その後、大分県で働き始めましたが、勉強していた時の日本語だけでは会話ができなかったり、字が読めなかったりしました。

子供の頃から勉強が好きなのは、もっと日本語の勉強をして日本人と会話をしたい、字も読んだり書いたりできるようにになりたいと思いました。技能実習生として日本に来ている私は、勉強するだけにはいきません。働きながら勉強をしないといけないのです。そこで私は勉強時間を作るため、朝4時に起きて勉強することにしました。毎日、早起きを続けていると体のほうも慣れてきました。早起きして勉強していましたが朝食や弁当や洗濯など生活の時間も必要で、思うように勉強することができません。もっと勉強したいと思った私は、朝3時に起きるようにしました。早起きは辛いのですが、ベトナム人の私にとって日本の冬はとても寒く、字を書く時は指先が痛くて動かなくなるほど寒かった日もありまし

た。そんな日もありましたが毎日、早起きして勉強を続けました。

日本語が少し分かるようになると、日本人と会話をしたり、字を読むことができるようになってきました。少し会話ができるようになりましたが、私の発音は正しくできていないみたいで日本人に伝わらない時がありました。発音を練習したくなった私は発声練習をしようと思いました。早起きして勉強していますが、他の実習生と共同生活のため朝早くから発声練習をすることはできません。練習するために朝6時15分に家を出ることにしました。自転車での通勤中に発声練習をするためです。雨が降っている時も雪が降っている時も同じ時間に通勤し、練習しました。苦手だった「つ」の発音が上手になったと日本人に言われた時はとても嬉しかったです。

私は毎日、早く会社に着き、日本語の読み書きをしたり、早く来る日本人と会話をしています。毎日色々なことを教えてもらっています。その中でも「継続は力なり」という諺を覚えてもらったのが心に響きました。

私の日本語はまだまだですが、2年後、帰国して日本とベトナムの架け橋になれるような仕事がしたいと思っています。これからも少しずつ上達するように頑張りたいと思いました。来年、このような作文を書く機会があれば今年の成果などを書きたいと思います。

最後に日本で働いている技能実習生、日本で働こうと思っている外国人の皆さんに伝えたいことがあります。もう少し、日本語を勉強すれば日本での生活が楽しくなってきます。働きながらの勉強は大変ですが頑張ってください。「継続は力なり」。